

1 玉を文題中のモノの代わりとして使い、実演で行う。
2 問題文を読み伝え、それに従って玉を置いて、口頭で答えさせる。
3 四角の中の手を使うことに慣れさせる。
4 検査ではないので、分かって正答できるまで試行する。

a) 数表象としての玉を具体的に操作した算数の口頭試問。
b) ここでは、玉が数表象(rep.)として別のモノを代表する役割を担う。
c) ペン図の決まりごととして、部分集合は円が、全体集合は四角が枠形となる。

Date:

特定用具: 不要

- ① つむ君は怪獣カードを5枚もっていました。そこへお兄ちゃんが3まいくれました。つむ君の怪獣カードは何枚になったでしょう。
- ② みつちゃんは、4枚のお絵書き用紙をもっています。さつちゃんは同じ用紙を6枚もっています。ふたり合わせて、お絵書き用紙は何枚でしょう。
- ③ トンちゃんは、右手におはじきを6こもっています。そして、左手に3こ、もっています。両手を合わせると、トンちゃんはおはじきを何こもっていますか。

「玉をおいて算数しましょう。」



たまで かんがえよう。